

令和4年度

部の経営方針

岡崎市

< 目次 >

◆「部の経営方針」策定について.....	1
◆ 各部の経営方針	
総合政策部	2
財務部	3
総務部	4
市民安全部	5
社会文化部	7
福祉部	9
保健部	10
保健部（保健所）	11
こども部	12
環境部	13
経済振興部	14
経済振興部（技術担当）	14
土木建設部	16
都市政策部	17
都市基盤部	18
市民病院	19
消防本部	20
上下水道局	21
会計管理者	22
議会事務局	23
教育委員会事務局	24
教育委員会事務局（教育監）	25
監査委員事務局	26
農業委員会事務局	27

「部の経営方針」策定について

市政運営の更なる透明性の向上と市民の皆様との情報共有を図るため、令和4年度の各部の取組の方向性や重点的に取り組む事務事業における目標等をまとめた「部の経営方針」を策定しました。

各部の主要な事務事業の目標達成基準を明らかにすることにより、部長等の主体的なマネジメントを推進し、その目標の達成に向けた積極的な取組を進めていきます。

「部の経営方針」の記載内容は以下のとおりです。

部長等からのあいさつ

担当する主な総合政策指針分野別指針

第7次岡崎市総合計画における総合政策指針の(1)から(10)の分野別指針のうち、どの分野を主に担当しているのかを示しています。

所管する主な個別計画

第7次岡崎市総合計画に掲載されている(1)から(10)の分野別指針に紐づく個別計画のうち、どの計画を主に担当しているのかを示しています。なお、所管する主な個別計画が掲載されていない部においては、地方自治法等の法令及び条例等に基づいて事務事業を行っています。

構成（令和4年4月1日現在）

部内に構成される課・室等が記載されています。

今年度組織重点目標

組織課題を解決するために、今年度実行する具体策を明確化し、緊急性の高いものや特に重要なもの、効果の高いものを絞り込み（重点化）した「目標項目」及びその「目標達成基準」が記述されています。

総合政策部



部長 手嶋 俊明

総合政策部では、「総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」など総合的な計画の策定や進捗管理をはじめ、秘書・渉外、広報・広聴及び危機管理などトップマネジメントのサポート、並びに本市のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進を始めとする組織横断的な政策を所管しています。

今年度は、新設された「デジタル推進課」において、行政手続のオンライン化を始めとする情報通信技術の利活用等により便利な市役所、スマートな行政を目指した取組を推進するとともに、第7次総合計画の2年目の年として、本市が掲げる将来都市像「一步先の暮らしで三河を拓く 中枢・中核都市おかざき」の実現に向け、「公民連携による成長戦略の推進」、「コンパクトな都市構造の構築」、「まちへの誇りが育まれる社会づくり」、「周辺都市との連携体制の推進」によって、持続可能な都市経営を推進します。

まちづくりは、行政だけで成し得るものではありません。総合政策部では、本市の未来につながる夢を多様な方々との共有・共感により実現できるよう、市民の皆様や民間事業者など多様な主体の皆様と、職員が一丸となる「チーム岡崎」によって、まちづくりを進めたいと考えています。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|-----------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (10) スマートでスリムな行政運営の確立 |

所管する主な個別計画

地域公共交通計画 シティプロモーション戦略 DXビジョン

構成

企画課 デジタル推進課 秘書課 広報課 地域創生課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
乙川リバーフロント交流拠点整備	市民意見をもとに策定した新たな方向性に基づき、乙川リバーフロント交流拠点整備に向けて、優先交渉権者と事業契約締結に係る協議を実施
岡崎駅西口自転車等駐車場用地活用支援	岡崎駅西口駐輪場活用を担う施設整備事業者を募集・選定し、定期借地権設定契約を締結
窓口キャッシュレス決済実証実験の実施	実証実験結果報告書の作成
適正な市長・副市長のトップマネジメントを支援する。	市長・副市長が、各種行事や会議において、本市の代表としての儀礼的役割を果たし、また、市政進展につながる情報交換等を実施し、各施策が実現できている。
市民広聴会の実施	8回程度開催し、議事録を公開できている。また、意見についての取りまとめができ、関係各課に展開できている。
矢作地区コミュニティ交通の実証運行	実証運行の開始

財務部



部長 本多 德行

財務部が所管する事務は、予算編成を始めとする財政運営、行財政改革の推進、公有財産のマネジメントなどの財産管理及び市税の賦課・徴収などが主なもので、市税を含む予算と財産を一元的に管理しております。

本市の各施策を着実に実施するため、健全な財政運営に努めるとともに、行財政改革推進計画に基づいて、将来にわたり持続可能な行政サービスの提供に取り組み、公共施設等総合管理計画等に基づいて適正な財産管理を行ってまいります。

また、一般会計予算の歳入の53%を占め、本市の基幹財源である市税の適正かつ公平な賦課・徴収に努めてまいります。

皆様の貴重な税金をより効果的に活用して、市民の皆様の暮らしと健康を守り、持続可能なまちづくりを推進することができるよう、その基礎となる予算と財産を適切に管理するため、財務部職員一丸となって職務を遂行してまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|-----------------------|
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |
| (10) スマートでスリムな行政運営の確立 |

所管する主な個別計画

行財政改革大綱 公共施設等総合管理計画

構成

財政課 行政経営課 市民税課 資産税課 納税課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
当初予算・補正予算の編成	当初予算・補正予算の議案の作成 当初予算・補正予算の説明書の作成 当初予算発表資料の作成
行政課題解決に向けた民間企業との連携	課題解決に向けた具体的な取組1件以上
令和7年度までの税総合システム標準化移行スケジュールに沿った移行準備の実施	移行準備作業が適切に実施されている。
特定生産緑地制度不移行土地への対応	特定生産緑地制度に移行しなかった生産緑地の現地調査を実施し、路線価評価へと評価を見直しする。
早期の完納を目指した換価容易な財産に対する差押えの実施	前年度収納率を参考に、経済情勢の低迷による影響を最小限に抑える。

総務部



部長 戸谷 康彦

総務部の所管する事務は、情報公開、選挙、庁舎管理、人事管理、職員研修、入札、契約、情報システムの適正管理などが主なもので、市全体の事務に関わり多岐にわたっています。

情報公開制度、職員の採用、契約事務、情報システムの運用管理などについて、社会生活の中で疑問に感じられることやご提言などがありましたら、お気軽に総務部の各担当へご相談ください。

市を取り巻く社会経済情勢の変化に応じて、市民の皆様のご意見を拝聴させていただきながら、ニーズや期待に応えられるよう、行政情報の開示、人事管理の適正化、入札・契約制度の改善、情報セキュリティ対策などの諸事項について継続して積極的に取り組んでまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

所管する主な個別計画

定員適正化計画 特定事業主行動計画

構成

総務文書課 庁舎車両管理課 人事課 契約課 情報システム課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
新文書管理システム導入に対応したルール整備	新文書管理システムに対応した規則・規程等の改正及び周知
貸出公用車のクリーンエネルギー化と温室効果ガス排出抑制の推進	次世代車両への更新計画(案)の作成
定年延長に伴う役職定年制度、定年前再任用制度の構築	定年延長に伴う関係条例・規則の改正及び周知
入札参加停止措置要領・取扱内規の改正	入札参加停止措置要領・取扱内規の改正完了
システム標準化対象業務の移行計画の策定	標準化対象全システムの移行計画の策定

市民安全部



部長 桑山 拓也

市民安全部は住民異動や戸籍届出等の受付を始め、市民協働の推進、防災、防犯、交通安全対策など、「暮らしを守る強靱な都市づくり」「多様な主体が協働・活躍できる社会づくり」に取り組んでいます。

市民課・支所は、市民の皆様の利便性の向上を目指し、デジタル化社会の基盤となるマイナンバーカードの普及・促進を図ってまいります。

市民協働は、生活上の課題を始め地域課題をきめ細かくお聞きし、この課題解決の場を市民活動団体の活躍の場とすることで協働の輪を広げてまいります。

防災では、災害時に市民の皆様の安全確保を図るため、「矢作川避難計画」を始め防災に関する情報の啓発と実効性の確保に努めます。

防犯では、都市宣言「子ども・女性・高齢者を犯罪から守るまち岡崎」の実現に向け、さらなる犯罪対策を計画的に推進するとともに、交通安全対策として、交通事故の原因を分析し、効果的な施策を実施します。

これらは、相互に関連する業務として、課の枠にとらわれず、部一丸となって取り組み、安全・安心で住みよいまちづくりに取り組んでまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|-------------------------|
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |
| (4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり |

所管する主な個別計画

国民保護計画 地域防災計画 地震対策アクションプラン 受援計画 業務継続計画 地域強靱化計画 市民協働推進計画 防犯活動行動計画 交通安全計画
--

構成

市民協働推進課 防犯交通安全課 消費生活センター 防災課 市民課 岡崎支所 大平支所 東部支所 岩津支所 矢作支所 六ツ美支所 額田支所

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
地域支援に対するニーズの把握	地域課題が整理され、ニーズの把握ができ、次年度支援体制の準備ができています。
都市宣言「子ども・女性・高齢者を犯罪から守るまち岡崎」の実現に向けた施策の促進を図る第6次岡崎市防犯活動行動計画の策定	第6次岡崎市防犯活動行動計画の策定及び公表が完了している。
岡崎駅西口自転車等駐輪場用地活用事業において、仮設自転車等駐輪場の準備及び稼働並びに現無料自転車等駐輪場の閉鎖に係る事務執行	仮設自転車等駐輪場の稼働が開始されるとともに現無料自転車等駐輪場の閉鎖が完了している。
矢作川避難計画に定めた避難計画の実現性を高める	矢作川避難計画改訂案の作成
災害時における連携を強化するため組織の見直しと、中長期的な人材育成の方針となる人材育成方針を定める	地域防災計画に反映及び次年度に向けた実施体制の準備

マイナンバーカード出張申請の積極的な実施	出張申請を 10 カ所程度実施
交付申請に対する審査工程を整理し、迅速で安定した証明窓口業務を維持する	各支所で共通マニュアルに準拠した証明交付業務が行われ、均質な証明書交付業務が行われている。

社会文化部



部長 安藤 治樹

社会文化部は、文化振興及び芸術、スポーツ、男女共同参画、国際交流、生涯学習に関する事項を担当しています。

文化芸術×スポーツで「人」を元気に、「まち」を元気に、そして岡崎の「未来」を拓く取組みを進めてまいります。

今年度は、コロナ禍における感染症対策に万全を期し、WRC 世界ラリー選手権の支援や岡崎アスリートの皆様のご協力を得て、「スポーツフェスティバル」を開催してまいります。

そして、大河ドラマ「どうする家康」の放映に向けて、岡崎城と三河武士のやかた家康館を展示改装し、美術博物館では大河関連特別企画展の開催準備と展示室の環境改善を進めてまいります。

また、図書館交流プラザりぶらや市民センターを拠点として、生涯を通じ、誰もがいつでも、いつからでも学び続けられる環境を整え、活躍できる施策に取り組みます。美術館では市民の皆様が気軽に芸術に触れられる場として「岡崎アートヴィレッジ」を創設、おかざき世界子ども美術博物館では「子どもたちのアール・ブリュット」を充実させてまいります。

その他、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」をスタートし、性別等を問わず多様な主体が協働・活躍できるまちづくりを目指します。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- (4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- (6) 女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり
- (7) 誰もが学び活躍できる社会づくり

所管する主な個別計画

文化振興推進計画 スポーツ推進計画 男女共同参画基本計画 多文化共生推進基本計画
生涯学習推進計画 子ども読書活動推進計画

構成

文化振興課 スポーツ振興課 体育館 多様性社会推進課 生涯学習課
市民センター 中央図書館 額田図書館 美術博物館 地域文化広場 美術館

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
大河ドラマ「どうする家康」放映に向けた岡崎城、三河武士のやかた家康館のリニューアル	岡崎城のリニューアル完了、大河ドラマ館をオープンする。
WRC 及び関連イベントの実施	地域活性化、交流人口の増加を図ることを目的とし、WRC の開催及び関連イベントを実施する。
市民体育祭とスポーツレクリエーション祭を廃止し、スポーツフェスティバルの開催	市民のライフスタイルに応じて気軽にできる種目を取り入れたスポーツフェスティバルを開催する。
多様な性を尊重する社会の推進に係る広報及び啓発	パートナーシップ・ファミリーシップ制度の広報及び多様な性の尊重の啓発に向けた一連のキャンペーン活動を実施する。
公民連携講座の開催	民間事業者や大学等による公民連携講座を新たな講座として市民センター等で実施する。

図書館へ来られないかたへのサービス拡充(電子図書館サービスの導入)の検討	導入済図書館の状況を調査検討し、当館での電子図書館導入までのスケジュールを作成する。
歴史文化資産の活用による、地域の活性化、観光振興につながる展覧会の検討	大河ドラマ特別展の開催告知ができています。 庁内関係部署と連携事業を検討する。
子どもたちのアール・ブリュット常設展の開催	障がいをもった子どもたちの作品の常設展示を継続し、特別支援学校だけでなく市内の小中学校にも裾野を広げて、特に市内の子どもたちの作品を中心に展示する。作品を入れ替えてアール・ブリュット作品を紹介する。
アートヴィレッジを目指した検討	アートヴィレッジ計画に向けた検討完了

福祉部



部長 小河 敬臣

福祉部は、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らすことができるよう、福祉施策の推進に取り組んでまいります。

地域共生社会の実現に向けて、複雑・多様化した地域生活課題に対して断らない相談や社会参加支援、支え合いの地域づくりを行う福祉総合相談体制の充実を図ります。また、災害時における避難行動要支援者の避難の実効性を高めるため、個別避難計画の作成に取り組めます。

障がい福祉施策では、障がい児・者の相談支援体制の強化を図るなど、障がいの有無にかかわらず地域で安心して暮らせる社会の実現を目指します。

高齢者福祉施策では、地域包括ケアシステムの更なる推進を図るとともに、認知症施策を拡充し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します。

その他、国民健康保険制度並びに後期高齢者医療制度の円滑な運営、コロナ渦における生活保護制度の弾力的運用に努め、市民の皆様が安心して暮らし続けられるよう支援します。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

所管する主な個別計画

地域福祉計画 障がい者基本計画 障がい福祉計画 障がい児福祉計画
地域包括ケア計画 国民健康保険保健事業実施計画

構成

地域福祉課 ふくし相談課 障がい福祉課 長寿課 介護保険課 国保年金課
医療助成室

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
令和4年12月1日の民生委員児童委員の一斉改選を実施(担い手の確保)	委嘱及び解職の完了
災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成	個別避難計画の作成 10件
手話が言語であることへの理解促進を図る	予算計上した各種事業の実施と、次年度事業のために必要な予算要求を行う。
地域リハビリテーション活動強化事業委託の実施	委託における報告書について各種会議や専門職同士での共有による活用を行い、市民に対して情報提供や啓発を実施する。
地域包括ケア計画を踏まえた施設整備事業者の公募の実施	令和5年度整備分(地域密着型特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム)に係る公募が適切に実施されている。
国民健康保険加入者のための特定健康診査・特定保健指導の適正な実施	環境変化に対応した特定健康診査、特定保健指導の実施
後期高齢者医療制度の窓口負担割合2割導入に伴う被保険者証の交付	被保険者証の交付(7月と9月)

保健部



部長 神尾 清成

保健部は行政組織上、地域保健法に基づく保健所を兼ねており、組織は岡崎げんき館内の保健企画課、保健衛生課、保健予防課、新型コロナウイルスワクチン接種推進室及び健康増進課の5課室並びに東公園内の動物総合センターで構成しています。

健やかに安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、地域医療及び救急医療体制の充実・連携を図るとともに、大規模災害時に円滑な医療救護活動を提供するための訓練実施と受援体制の強化にも取り組んでまいります。

長引く新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、ワクチン接種など感染予防を着実に進めるとともに、感染状況が不透明な中、ウィズコロナ「新しい生活様式」の定着に努めてまいります。

また、「そこに暮らすことで健幸(けんこう)になれるまち」を意味するスマートウェルネスシティを実現するため、「歩いて健康」「食べて健康」を中心に、幅広く市民の皆様に浸透する健康づくり施策に取り組んでまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

所管する主な個別計画

特定健康診査等実施計画 健康おかざき 21 計画 食育推進計画
 新型インフルエンザ等対策行動計画 岡崎市自殺対策計画 動物行政推進計画

構成

保健企画課 保健衛生課 保健予防課 新型コロナウイルスワクチン接種推進室
 健康増進課 動物総合センター

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
げんき館プール天井等の改修	プールでの必須提案教室の代替教室の実施 プール休館・再開による利用者の混乱の回避 げんき館プール天井等の改修
残薬管理支援事業の支援	補助事業を実施し、お薬節約バッグを配布： 3,000 個
中3生・高3生のインフルエンザ予防接種の助成の周知と実施	個別通知によるもの、SNS によるものなど、周知について複数を実施し、償還払いによる助成を実施できる
第4次岡崎市食育推進計画の策定	第3次岡崎市食育推進計画最終評価報告書の完成 第4次岡崎市食育推進計画の公表 分散型食育メッセ(イベント)の開催
ふるさと納税制度を参考に、寄附金の募集及び活用と動物に関する基金等の創設に向けた検討	ふるさと納税制度を参考とした寄附金の活用と動物に関する基金等の創設に向けた検討を完了

保健部 (保健所)



所長 片岡 博喜

保健所は、乳幼児健診、がん検診及び歯周疾患健診などの各種健診並びに受動喫煙防止対策、予防接種の実施、精神保健の推進、地域医療体制の確保及び食品・環境衛生の向上対策など、幅広い分野にわたって業務を行っています。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、感染拡大を防止する有効な手段の一つとなるワクチン接種を着実に進めてまいります。

また、災害時医療救護体制の課題整理と今後の方策をとりまとめるとともに、医療依存度の高い長期療養児及び医療的ケア児の災害時の安否確認体制を構築してまいります。

これからも、市民の皆様の健康を守り、安心して暮らせるよう、関係機関と連携しながら、身近な健康づくりの推進に努め、魅力ある保健事業の展開を図っていきます。

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
新型コロナウイルスのゲノム解析の実施	新型コロナウイルスゲノム解析の手順書作成 依頼検体の検査の実施
新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保	安全かつ迅速な接種の実施
新たな救急医療体制の構築に向けた協議	協議の実施と、救急医療の方向性について、関係者の合意形成
災害時の医療救護体制の課題検討	課題の共有とWGなどでの課題検討・方策についてのとりまとめ
医療依存度の高い長期療養児及び医療的ケア児の災害時の安否確認体制の構築	災害を想定した訓練の実施 安否確認体制の評価と課題の整理ができている

こども部



部長 鈴木 滋幸

こども部では、子どもの健やかな育ちを支える子ども・子育て環境の整備に取り組んでいます。

「おかざきっ子 育ちプラン」に基づき、児童虐待の防止強化、ひとり親家庭や発達に心配のあるお子様に関する支援の充実に努めるとともに、増大する保育需要に対応するため、私立保育園の園舎増改築及び幼保連携型認定こども園に移行する私立幼稚園の施設整備に対する補助を実施し、定員の増加、保育環境の充実に努めてまいります。

また、緑丘小学校の校舎増築に合わせ校舎の一部に児童育成センターを整備するほか、岡崎小学校の増築校舎において小学校が使用しない時間帯の特別教室をサテライト的に活用するなど、放課後の子どもの安全・安心な居場所を確保してまいります。

子どもと子育て家庭の目線に立ち、本市の実情に即した諸施策をこども部職員一丸となって積極的に進めてまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|---------------------------|
| (4) 多様な主体が協働・活躍できる社会づくり |
| (5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり |
| (6) 女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり |

所管する主な個別計画

おかざきっ子 育ちプラン DV 対策基本計画

構成

こども育成課 子育て支援室 家庭児童課 保育課 総合子育て支援センター 保育園 こども園 こども発達相談センター

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
児童育成センター運営業務の充実及び次期委託事業者の選定	委託する事業者を決定する。
ひとり親家庭等に向けた情報発信サービスの実施	運用を開始し、適切な時期に情報が発信できている。
児童虐待減少のための、保護者への心理的支援の実施	支援プログラムの選定ができている。
【スクラップ】 公立保育園の民間移管の推進	私立保育園としての運営開始準備ができている。
早期発達支援システムの効率的な運用	新指標を用いた評価による見直し案を次年度事業に反映させる。

環境部



部長 新井 正徳

環境部は、持続可能な社会(SDGs)の実現に向けて、地球温暖化対策、自然環境の保全、公害防止、廃棄物の適正処理、ごみの減量・資源化などに関する事務を担当しています。

環境問題は、気候変動、生物多様性の損失や森林の荒廃など地球規模のものから、ごみ処理など私たちに身近なものまで多岐にわたっています。

具体的な取組としては、持続可能な社会と2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、地球温暖化対策実行計画の改正を行い、本市の脱炭素ロードマップを作成するとともに、中心市街地や公共施設などでの再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。また、生物多様性おかざき戦略の中間見直しを進めるとともに、「おかざき自然体験の森」については、今年度から移行する指定管理者と連携し、より良い施設運営を目指します。

他にも、アスベスト対策、生活排水対策、ポイ捨て防止の推進、的確な環境調査の実施などにも取り組みます。ごみ処理については、ごみ減量施策を展開するとともに、プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、家庭ごみの分別変更の検討を進めます。また、広域ごみ処理について西尾市、幸田町と協議を継続していきます。

これらの施策を通じて、市民・事業者の皆様と協働しながら環境部職員一丸となって環境共生都市の実現を目指します。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |
| (3) 持続可能な循環型の都市づくり |

所管する主な個別計画

災害廃棄物処理計画	環境基本計画	地球温暖化対策実行計画	生物多様性おかざき戦略
水環境創造プラン	一般廃棄物処理基本計画	岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画	

構成

環境政策課	ゼロカーボンシティ推進課	環境保全課	廃棄物対策課	ごみ対策課
清掃施設課	総合検査センター			

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
生物多様性おかざき戦略の中間見直し	生物多様性おかざき戦略の改定
岡崎市地球温暖化対策実行計画の改定	計画（区域施策編・事務事業編）の改定
有害物質等取扱事業所の地図システムデータの更新及び注意喚起情報の発信	浸水リスクの高い者に対する注意喚起文書の発送
し尿収集手数料の改正及び周知	し尿収集手数料の条例改正及び周知の完了
プラスチック類及び雑紙の分別基準及び処理ルートの検討	プラスチック類及び雑紙の分別基準案、処理ルート案を作成するほか分別変更時期を確定する。
処理施設への不適正な物の搬入を防ぐ	適正な廃棄物処理の実施と不適正な廃棄物の搬入を防ぎ減量化も図る。
大気汚染常時監視測定局適正配置計画の改訂検討	大気環境調査計画の改訂に係る検討報告書作成

経済振興部



部長 鈴木 洋人

経済振興部は、商工労政課、観光推進課、「どうする家康」活用推進課、農務課、農地整備課、森林課、中山間政策課から構成され、本市の経済基盤を支える産業振興と、恵まれた自然・歴史・文化資源を市内外に発信する観光に関する仕事をしています。

商業では、岡崎ビジネスサポートセンター等による商業の活性化と事業者への支援を、工業では、ものづくり産業への支援と企業誘致を、労働政策では働き甲斐のある学びなおしを、農業では、農業の新技术・効率化とブランド化への支援を、農地では、生産性の向上と多面的機能の維持を、森林では、木材利用の向上による森林整備のための林業6次産業化を、中山間地域（オクオカ）では、公民連携による経済活動を活用した中山間地の魅力づくりを、そして、観光では、徳川家康公の生誕地を含めた歴史・文化、森林・川等を活用した自然と、大河ドラマ「どうする家康」を活用した、観光産業の推進に取り組んでいきます。

経済振興部（技術担当）



部長 鈴木 康弘

本市の経済基盤を支える産業振興においては、様々な施策を実施していく必要があります。その中でも、特に農業、林業、工業の3つの分野においては、基盤整備を含めた取り組みが必要です。

農業においては、土地改良事業を行い、耕作のしやすい農地を整備することで生産性を向上させます。また生産性の維持のため農業用施設の管理を行い、このうち、農業用ため池については、耐震化等の防災工事を推進し、地域の安全性向上にも寄与していきます。

林業においては、林道の整備、維持管理により林業振興を図ります。また、森林経営管理法に基づいた森林経営管理制度の促進、治山事業実施に必要な調整を行い、森林保全を進めます。

工業においては、小針町の産業立地誘導地区において道路整備を進め、企業立地適地とし、企業誘致を進めていきます。

これまでも基盤整備を実施しておりますが、まだ必要なものがあると考えています。今後も必要性、整備効果を検証しながら、整備をし、産業振興を進めていきます。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- (3) 持続可能な循環型の都市づくり
- (8) 商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- (9) ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり

所管する主な個別計画

森林整備ビジョン 森林整備計画 農業振興計画 山村振興計画 産業労働計画
観光基本計画 中山間地域活性化計画

構成

商工労政課 観光推進課 「どうする家康」活用推進課 農務課 農地整備課 森林課
中山間政策課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
ふるさと納税(おかげさ応援寄附金)の更なる寄付額の増加	ポータルサイトの追加、返礼品登録数の増加
大型観光イベントの見直し	新たな手法を反映させた大型観光イベントの開催
大河ドラマ館設置	令和5年の大河ドラマ放送開始後にオープンが可能な状態となっている。
農福連携のためのマッチング支援	相談窓口を通じたマッチング手法が、県との連携のもと確立している。
合歡木排水機場の更新に係る業務の促進	受益関係者(約300人)の同意書の徴収を完了させる。
森林経営管理法の適正な運用	森林経営管理権の設定を行う。
中山間地域における移住・定住相談体制の確立	地域情報を収集整理できる基盤づくりをし、相談窓口において中山間地域への移住・定住情報を紹介、仲介できる体制が構築できている。

土木建設部



部長 中田 利隆

土木建設部では、社会基盤である道路、河川の整備や保全、維持管理を所管しています。

道路部門では、地域経済を支える広域的な幹線道路に係る国県事業の整備促進に向けた活動のほか、安心して安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するための都市計画道路を始め、主要な道路の整備や渋滞対策を進め、快適な移動社会の実現を目指します。

また、道路や橋りょうなどのインフラ管理については、予防保全型となる長寿命化対策を推進するとともに、適切な日常管理により健全な施設維持に努めます。

河川部門では、自然災害が激甚化・頻発化する中であって、浸水被害を軽減するため、国県管理河川の整備促進を要望するほか、市内全域で総合的な雨水対策の強化を図ります。

「誰もが暮らしやすい地域づくりの支援」として、社会基盤の強靱化に取り組み、市民の皆様の暮らしを支え、災害から命を守る、持続可能な都市づくりにまい進します。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |

所管する主な個別計画

総合雨水対策計画

構成

建設企画課 土木管理課 道路維持課 道路予防保全課 道路建設課 河川課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
渋滞解消総点検の推進	対策実施による効果検証
占用申請のオンライン化	導入システムの選定方針の決定
新技術を活用した道路異常箇所発見システム（みちログ）による道路管理の高度化	道路異常箇所発見システム（みちログ）運用方針の作成
自動車と歩行者、自転車が共存できる安全で快適な道路空間の創出を目指し自転車通行空間の整備推進（岡崎市自転車ネットワーク計画）	令和4年度の計画路線における自転車通行空間整備工事の完成
地方創生道整備推進交付金を継続的に確保するために必要な検討	次期計画素案の策定
公共施設への雨水貯留浸透施設の設置の促進	検証結果を踏まえた浸透施設設置方針案の作成

都市政策部



部長 鈴木 広行

都市政策部では、「岡崎市都市計画マスタープラン」「岡崎市景観計画」等の計画の下、「自然・歴史・文化を礎に新たなくらしと活力を創造する風格ある都市 岡崎」を目指し、市民の皆様が将来にわたって引続き住み続けられるよう各施策に取り組んでいます。

所管する事務は、

- ・土地利用に関する総合的な調整や、都市計画の区域や用途地域の指定

- ・適正な建築・開発を誘導し、安全安心で人にやさしく、低炭素なまちづくりの推進

- ・「QURUWA戦略」では、乙川の「かわまちづくり」をはじめとする公共空間の活用促進と民間投資の誘導

- ・本市の多様な歴史文化資産を活かし未来へつむぐ歴史まちづくりの維持向上、地域特性を活かし誇りと愛着を育む景観まちづくりの推進

- ・災害に強いまちづくりを目指し「住宅の耐震化」「ブロック塀の安全対策」「空家対策」「狭あい道路拡幅整備」の促進

など多岐にわたっています。

まちづくりは、市民の皆様の協力を得て、規律を持って適正に進めることで成しえます。いずれも市民生活に直接かかわるものですが、特に「QURUWA戦略」「かわまちづくり」「歴史まちづくり」は、公民連携の手法を交えて一体的に取り組んでいくことで、誰もが、訪れたい、住んでみたいと思うまちを創ってまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |

所管する主な個別計画

都市計画マスタープラン 立地適正化計画 土地利用基本計画 駐車場整備計画 景観計画 屋外広告物適正化計画 歴史的風致維持向上計画 無電柱化推進計画 空家等対策計画 防災都市づくり計画 建築物耐震改修促進計画

構成

都市計画課 建築指導課 都市施設課 まちづくりデザイン課 住環境整備課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
市街化調整区域及び都市計画区域外における土地利用に関する基本方針の策定	基本方針の公表
特別用途地区の制限緩和における大臣承認、条例制定	大臣承認、条例制定
第30回全国川サミット in 岡崎の開催	全国川サミットの開催
八帖地区景観形成重点地区無電柱化事業	整備事業の完成
「岡崎市空家等対策計画」の改定	「岡崎市空家等対策計画」の公表

都市基盤部



部長 横山 晴男

都市基盤部は、都市を形作る重要な要素である都市施設を、各事業計画に基づき整備して参ります。

- ・東岡崎駅の第2期整備を名鉄と連携して推進し、南北自由通路、橋上駅舎、駅ビル、バスターミナルを一体的に整備します。

- ・岡崎駅周辺の都市基盤の整備、都市計画道路柱町線及びその周辺道路の整備等を行い、南部の拠点として魅力あふれるまちづくりを進めます。また、本宿駅周辺ではアウトレットモール整備に合わせて土地区画整理事業を推進するよう支援します。

- ・公園を快適で楽しい場とするため、岡崎公園の施設改修、南公園の再整備などを進めます。また、都市公園における公民連携を推進します。

- ・安全安心な住まいを確保するため、住宅セーフティネット制度の取組や老朽化した市営住宅平地荘・大樹寺荘の建替事業を推進します。また、新婚世帯への支援を行い、若年・子育て世帯の移住定住を促進します。

- ・公共建築物の安全安心で機能的な施設整備とともに計画的な長寿命化を推進します。

担当する主な総合政策指針分野別指針

- | |
|--------------------|
| (1) 暮らしを支える都市づくり |
| (2) 暮らしを守る強靱な都市づくり |

所管する主な個別計画

緑の基本計画 住生活基本計画 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅供給促進計画 公共施設等総合管理計画
--

構成

拠点整備課 市街地整備課 公園緑地課 建築課 施設保全課 住宅計画課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
東岡崎駅の駅舎、ホーム及び南北自由通路整備に向けた工事実施協定書(案)の合意	工事実施協定書(案)の策定
(仮称)本宿駅西土地区画整理組合の設立に向けた技術的支援	土地区画整理事業の事業計画(案)の策定
南公園再整備事業の推進	公募指針の策定及び公表
大河ドラマ「どうする家康」の活用に向けた施設改修の推進	岡崎公園内の岡崎城、家康館等の施設改修の完了
新型コロナウイルス感染症に対応したトイレ改修の推進	こどもの家及び市民ホームトイレの洋式化及び自動水栓化の完了
結婚新生活支援補助業務の推進	結婚新生活支援補助金(住宅取得費等)の交付

市民病院



事務局長 伊奈 秀樹

岡崎市民病院は地域の中核基幹病院として、地域の医療機関と連携を図りながら、市民の皆様に良質で安全、安心な医療を提供してまいります。

当院では、高度急性期医療、救急医療、がん医療を軸に、周産期・小児医療など地域の医療ニーズに応え、また、患者さんの身体的負担が少ない手術支援ロボットの導入や、心臓弁膜症の原因の一つである「大動脈弁狭窄症」の新しい治療法である「経カテーテル的大動脈弁置換術・TAVI(タビ)」の認定施設となるなど診療機能の充実を図ってまいりました。今後も信頼、期待され「選ばれる病院」となるよう一層努めてまいります。

経営面においては、経営の効率化、医療スタッフの確保などの課題に取り組み、働き方改革を推進し、病院経営が安定して持続できる体制を整えてまいります。

市民の皆様には、日頃より「かかりつけ医」をお持ちいただき、当院への受診が必要な場合には紹介状をご持参いただきますようお願いいたします。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(5) 健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり

所管する主な個別計画

病院事業改革プラン

構成

総務課 施設課 医事課 経営企画室 総合研修センター 医療情報室 医療安全管理室
感染対策室 地域医療連携室 額田宮崎診療所 額田北部診療所
こども発達医療センター 看護専門学校

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
医師の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師労働時間短縮計画の作成 ・ 統括部長及び部長級を管理職員から除外 ・ 医療機関勤務環境評価センターによる第三者評価を受けるための準備
非紹介患者負担金改定の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改定内容に対する適切な対応 ・ 10/1からの運用開始
病棟地下1階厨房洗浄室改修工事	病棟地下1階厨房洗浄室改修工事の完成
公立病院経営強化プランの検討	公立病院経営強化プラン(案)の作成
地域への看護師供給	卒業生のうち医療圏内就職率70%、市民病院受験率80%

消防本部



消防長 鈴木 聡

消防本部では、災害に強い安全安心なまちづくりを実現するため、指揮指令車及び救助工作車の更新を始め、昨年度から運用を開始しました無人航空機（ドローン）を増台して東消防署本署に配備するなど、消防防災体制の強化を図ってまいります。

また、西消防署本署に新たに予防管理係を設置して予防査察体制を強化するとともに、講習会などを通じ自主防災組織の育成強化に取り組んでまいります。

さらには、近年増加する豪雨災害に対応するため、昨年度に引き続き土砂災害警戒区域を管轄する消防団に電動式チェーンソーを配備するなど地域防災力の向上に努め、発生が危惧されております「南海トラフ地震」に備えるため、消防職員及び消防団員による危機管理体制の一層の強化を図ってまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(2) 暮らしを守る強靱な都市づくり

所管する主な個別計画

—

構成

総務課 予防課 消防課 共同通信課 中消防署本署 北分署 花園出張所
東消防署本署 南分署 青野出張所 額田出張所 本宿出張所 形埜出張所
西消防署本署

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
変則勤務職員の旅行命令に係る事務を人事庶務システム管理に移行	旅行命令事務に関して逐次申請・承認体制を構築
消防法令に規定する各種届出（19 手続）のオンライン化を推進し、行政サービスの向上を図る。	8 月末までに仮運用をスタートし問題点を抽出、10 月から本運用を開始
消防水利の情報共有化	消防水利情報を電子地図に取込みスマートフォン等で情報が共有されている。 継続的なデータ管理方法の確立
消防指令業務の的確・迅速化のための対応	システムの設定変更により、出動の個別指令等が運用され消防指令業務が迅速化されている。
消防活動用無人航空機の操縦者養成計画	計画的な養成計画の策定
指揮要領の知識及び技術の向上	各署所との合同訓練を 2 か月に 1 回以上実施 訓練の検証結果が報告書として作成され、署内で情報が共有されている。
職員の査察技術及び知識の向上	担当署所に出向し、査察研修を実施

上下水道局



部長 荻野 恭浩

上下水道局は、水道と下水道を所管し、重要なライフラインとして市民生活や社会経済活動の根幹を支えています。

本市の下水道事業は令和5年に100周年、水道事業は90周年を迎えます。感染症から市民の皆様の生命を守る「公衆衛生の要」としてスタートした両事業は、拡張・普及の時代から管理・再構築の時代への変革期にあります。近年は、老朽化施設・管路の更新や頻発・激甚化する災害への対策に伴う支出増加の一方で、節水や人口等社会構造の変化による水需要の減とともに収入が減少するなど、経営環境の厳しさが増えています。

策定後2年目となる上下水道ビジョンは、大切な上下水道の資産を次世代へ引き継ぐために、すべての取り組みの推進エンジンとしてアセットマネジメントを位置付けています。ヒト・モノ・カネのそれぞれに対し、リスク・コスト・パフォーマンスを最適化することで、強靱で持続可能な新時代の上下水道を目指してまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(1) 暮らしを支える都市づくり

所管する主な個別計画

上下水道ビジョン

構成

経営管理課 上下水道部総務課 上下水道部サービス課 上下水道部水道工事課
上下水道部水道浄水課 上下水道部下水施設課 上下水道部下水工事課

今年度組織重点目標(経営管理課)

目標項目	目標達成基準
市民参加型市政推進に向けて市民と上下水道事業に関する情報を共有し対話の質・理解を深める 「上下水道事業白書」の作成	上下水道事業白書の作成・公表
公民連携した業務改革の推進	包括外部委託及び現場作業における業務手順書整備とデジタル化計画令和4年度分の実行

今年度組織重点目標(上下水道部)

目標項目	目標達成基準
DX(RPAの実用化・ICTソリューションの活用)を意識した業務の効率化	RPAの実用化・ICTソリューションの活用方法の決定
下水道事業受益者負担金条例等の改正	条例及び施行規程の改正
自然災害等発生時における配水機能の維持	北斗台低区配水区 管路復旧計画(ハイリスク版)案の作成
風水害(特に被害の多い雷害や台風)時の対応訓練の実施	職員への対応訓練の実施
下水道台帳システムの更新	今年度予定業務の完了
下水道管渠ストックマネジメント計画の策定	計画策定の完了

会計管理者



管理者 樋田 宣行

会計管理者は、会計事務の適正な執行を確保するため、公金の出納保管及び収支管理を行い、毎会計年度の決算調製をすることが主な役割です。

会計部門では、公金の支出内容が適正であるかを審査した上で支払いを行うとともに、支払いまでの間については確実かつ安全で有利な公金の管理・運用を行うよう努めています。

税金、手数料など、行政運営を支える大切な公金をお預かりする者として、適正な支出と確実な管理に取り組んでまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

所管する主な個別計画

—

構成

会計課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
適正な会計事務（庁内）の推進	会計事務ハンドブックの改訂及び各種マニュアルの充実
適正な会計事務（課内）の推進	・支払集計（日計）誤り 0 件 ・振込事故 0 件 ・収入額の財務会計システムへの消込処理漏れ 0 件
支払遅延を防止するための計画的な審査	支払遅延防止法違反書類 0 件
新財務会計システムに併せた審査及び会計事務の確立	新財務会計システムの要件定義の決定
安全で効率的な資金運用	安全性及び流動性を確保した上での計画した運用益の獲得

議会事務局



事務局長 近藤 秀行

住民の代表機関である議会は、皆さんの代表である議員が予算・決算・条例などの市の方向性を決定づける事柄を審議し、決定する重要な責務を担っています。

地方行政のより一層の充実が求められる現在、市民の皆様の視点に立った監視機能、調査機能の強化とともに、地域における多様なニーズを踏まえた政策形成機能の充実が求められるなど、その役割と責任はますます重要になっています。

議会事務局では、こうした議会活動を支えるとともに、議会だよりの発行、ケーブルテレビやインターネットによる議会中継、会議録や映像をホームページで公開するなど積極的な情報提供を行っています。引き続き、開かれた議会を目指し、本市の更なる発展のため、議会活動の充実・支援に努めてまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

所管する主な個別計画

—

構成

総務課 議事課

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
【スクラップ】 正副議長のスケジュール管理方法の見直し	・紙のスケジュール表を廃止し、タブレットを活用した方法とする。
議会のリスク管理の検討	・課題の調査、対応策の提案など検討組織の円滑な運営を支援する。
議会運営の効率化	委員会条例改正案を作成する。 オンライン委員会運営要綱案を作成する。 オンライン委員会開催に向けたマニュアル案を作成する。
議会広報の充実	市内大学との意見交換会の開催 議会広報委員会で意見交換会について、これまでの総括を含め今後のあり方を検討する。

教育委員会事務局



部長 河合 剛志

教育委員会事務局は、小中学校などの教育機関の管理運営を始め、教育施設を安全かつ快適な教育環境に維持することに努めるとともに、社会教育や青少年健全育成の推進などを所管し、教育行政の一層の向上を目指しています。

現在進めている主な事業としましては、まず、市内全公立中学校の普通教室に電子黒板を整備し、ICTを活用した質の高い学びを提供してまいります。また、少人数学級実施に向け、本市独自の教員採用選考試験を実施します。

そして、教室不足に対応するため、緑丘小学校、羽根小学校の校舎整備事業や、老朽化対策として岡崎小学校の大規模改修事業を進めてまいります。

さらに、昨年度、社会生活を営む上での困難を抱えた若者の相談窓口として開設した若者相談窓口を、子ども・若者の総合的な相談窓口である「子ども・若者総合相談センター」として拡充します。また、本市の象徴である岡崎城跡の整備や市内の多数の文化財の保存・活用に努めます。

今後も家庭や地域の皆様のご協力をいただきながら、将来の岡崎を担う「未来を拓き、豊かに生きる力をもった子どもたち」を育む取り組みをしてまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(7) 誰もが学び活躍できる社会づくり

所管する主な個別計画

学校教育等推進計画 文化財保存活用地域計画

構成

教育政策課 学校給食センター 施設課 学校指導課 小学校 中学校
総合学習センター 少年自然の家 教育相談センター 社会教育課 視聴覚ライブラリー
少年愛護センター 旧本多忠次邸

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
32人学級実施に向けた、岡崎の子どもたちをしっかりと導くことができる教員の確保	岡崎市任期付教員採用選考試験の実施と8～10名の市費負担教員の採用
全中学校への電子黒板の整備	全中学校への電子黒板の整備完了
緑丘小学校校舎整備事業の推進	校舎増築工事及び校舎改修工事の完了
羽根小学校校舎整備事業の推進	校舎増築工事の完了
子ども・若者総合相談センターを開設し、相談体制の拡充	子ども・若者総合相談センターを10月に開設し、市民への周知を進めるとともに相談体制を確立する。
3本献立の実施に向けた協議	3本献立の実施に向けた献立方針案及び献立具体案の作成

教育委員会事務局(教育監)



教育監 山本 則夫

学校教育に求められているものは、児童・生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生き抜くための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることであると考えています。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視し、個に応じた指導を充実する中で、公共の精神を尊び、児童・生徒の個性を伸ばす教育を展開することが大切です。そのために、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成して、子供が自他を敬愛し、喜んで通うことのできる、安全で魅力ある学校づくりを目指します。特に、次の3点を重点としています。

- ・学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための「確かな学力」を育む教育の推進
- ・命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための「豊かな心」を育む教育の推進
- ・体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための「健やかな体」を育む教育の推進

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ・「粘り強く課題の解決に取り組む力」を育む教育の推進 ・「確かな知性」を育む教育の推進 ・「豊かな感性」を育む教育の推進 ・「健やかな体」を育む教育の推進 	市委嘱研究校による研究実践 特別委員会による未来型授業の研究 指導員による授業改善への指導 チーム学習の研究 ICT機器の有効活用 新しい学校デザインに即した部活動の実施の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援体制の充実 ・いじめ長期欠席対策の推進 ・特別支援教育の推進 ・外国人児童生徒等教育の推進 ・多様な教育ニーズへの対応の強化 	校内フリースクールが未設置の中学校への設置 校内フリースクールサミットの実施 スクールソーシャルワーカーの増員 スクールソーシャルワーカー活用による校内ケース会議の実施 特別の教育課程の確実な編成とみどりのファイルの十分な活用 特別支援教育、外国人児童生徒教育に関する研修の実施 「そよかぜ相談室」における相談活動の積み上げ 特別支援教育連携協議会、いじめ問題対策連絡協議会、長期欠席等対策連絡協議会等の実施 学級集団適応心理検査の結果の分析と活用による確かな子ども理解と適切な支援の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導性・専門性・人間性の向上 ・教職員の働き方の検討、改善策等の提案 	教職経験年数に応じた研修の開催 コンプライアンス意識を向上させる講義等、時代の要請に応じた内容の研修 教員免許更新制の廃止に伴う、新たな教員の資質向上研修の検討

監査委員事務局



事務局長 中村 耕

監査委員（制度）は、住民の福祉の増進と公正かつ効率的な行財政運営を実現するため、地方公共団体の事務を監査し、また、その情報を市民の皆様提供することにより、行政に対する判断材料を提供し、理解を深めていただくため設けられています。

貴重な税金が市民サービスの向上に向けて有効、適切に使われているかどうか、公正で合理的かつ効率的な行政が確保されているかなどをチェックする監査部門の重要性は、増してきていると考えています。

監査委員事務局におきましては、監査委員が実施する監査により市政の適法性、効率性、妥当性が保障されるよう、公正謙虚な心構えを持ち、適切に監査委員を補助してまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(10) スマートでスリムな行政運営の確立

所管する主な個別計画

—

構成

監査係

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
例月出納検査	例月の各会計現金出納検査の実施
定例監査・行政監査	7 部局、6 小中学校、6 保育園等の監査の実施
随時監査	令和4年度に実施される工事から抽出した工事の監査の実施
財政援助団体等監査	指定管理者1団体の監査の実施
決算審査	令和3年度一般・特別会計、病院・水道・下水道事業会計の決算審査の実施
基金運用審査	令和3年度基金運用の審査の実施
健全化判断比率等審査	健全化判断比率等の審査の実施

農業委員会事務局



局長 鈴木 洋人

農業委員会では、農地行政機関として農地法などに関する事務や農業の振興を所管しています。あわせて、農業者の代表機関として農業関係者のご意見を伺い、農業施策に反映されるよう関係機関へ提案しています。

これらの事務を適正に進めるために、農業委員会サポートシステムを活用し、農地の情報を管理・公表するとともに、各種証明の迅速化と多様なデータ管理に努めています。

また、機関誌「農業委員会だより」の発行を通して、農業の情報を発信するとともに、優良農地の確保・保全、農地の違反転用防止・是正、遊休農地の発生防止・有効活用の推進に取り組んでいます。今年度においては、農業委員会委員による農地の出し手及び受け手の意向の把握、把握した意向を踏まえた農地の斡旋、農業への新規参入の促進等の農地の最適化活動の推進に努め、より一層の農業振興を図ってまいります。

担当する主な総合政策指針分野別指針

(3) 持続可能な循環型の都市づくり

所管する主な個別計画

農業振興計画

構成

総務係

今年度組織重点目標

目標項目	目標達成基準
農地バンクシステムの導入	農地バンクシステムを構築し、試行的運用を実施する。

「部の経営方針」

令和4年5月

岡崎市

財務部行政経営課

0564-23-6031

この冊子は庁内で印刷・製本しています。